

「皇帝」ダリアとヒマワリ 順調 御宿



見ごろを迎えた㊦皇帝ヒマワリ
㊦皇帝ダリア=いずれも御宿町



御宿町新町の「日本・メキシコ友好の花畑」で薄紫色の皇帝ダリアと、黄色の皇帝ヒマワリ計約1200本が見ごろを迎えた。同町の内山浩さん(73)が2011年から毎年育てており、今年は台風や塩害の被害がなく、10年間で一番順調に育った。12月に霜が降りるまで楽しめるという。

どちらの花もメキシコ原産。町がメキシコと友好関係を結んでいることから、内山さんは花の少ない時期に楽しんでもらおうと、育て始めた。しかし、ダリアは3月、ヒマワリは4月上旬の丈になることもあり、育てるのが難しく、順調に育ったのは13年まで。14年以降は場所を変えたこともあり、花がうまく咲かない年が続いた。

今年は台風が来なかったことや、近所の人たちの協力で順調に育った。挿し木で増やせるため、「来年は1万本の花畑を目指す」と内山さんは話す。問い合わせは町観光協会(0470・68・2414)。

(稲田博二)



早咲き皇帝ダリア八重

皇帝ひまわり

コスモス

日本・メキシコ友好の花畑